



うそ電話詐欺防犯情報

警察官を名乗る不審な電話に要注意!!

県内で、警察官を名乗る不審電話の相談が多数寄せられています。その内容は、警察官を名乗って電話してきて、「外国人の詐欺グループを捕まえた。残高と暗証番号を教えてください。」等と話し、個人情報や資産状況を聞き出そうとする不審電話です。

県外では、強盗殺人事件の被害者宅に、事件発生前に「お金いくらある？」など自宅内の現金保管状況を尋ねる不審電話の事例があります。このような不審電話で入手した情報を基に、うそ電話詐欺以外の強盗等の凶悪犯罪に発展する可能性もあるので注意しましょう。



【県内であった不審な電話の事例】

① 「警察官」を名乗って暗証番号等を聞き出す事例

- ○○署■■課の△△です。外国の詐欺グループを捕まえた。キャッシュカードの残高を教えてください。
- ○○のコンビニで外国人が強盗をした。捕まえたら、あなた名義のキャッシュカードを持っていた。残高と暗証番号を教えてください。



② 「警察官」を名乗って居住状況等を聞き出す事例

- ○○署からです。キャッシュカードが偽造されて使われている。△△という警察官を向かわせるのでキャッシュカードを渡してください。
- 旦那さんはいますか？（※居住状況を聞き出す。）
（いせんと答えると）後で折り返し電話します。

《 注意 点 》

- 警察、金融機関など、公的機関職員を名乗る相手から電話がきても、安易に信用せず、「部署」、「氏名」、「代表電話番号」等を確認すること。
- 他人に、キャッシュカードを渡したり、暗証番号を教えないこと。



（暗証番号を教えると、簡単にお金を引き出されてしまいます。）

- 電話では、家族構成、取引銀行、口座番号、預貯金残高など「個人に関する情報」は、安易に教えないこと。
- 不審（不安）に思ったら、一人で判断せず、家族や警察などに相談すること。

《 対 策 》

多数架かってくる電話の中から不審電話を見抜くことは困難です！
不審電話を受けないために

- 優良防犯電話（迷惑電話防止機能付電話機）へ変更
- 留守番電話に常時設定し、電話をかけた相手方を確認などの事前対策をして、被害に遭わないように注意しましょう！

